

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2023年
12月号
Vol.70 No.822

巻頭言

魅力 宇津野俊充

会 告

第23回公益社団法人東京都診療放射線技師会・
公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会

お知らせ

▷ 2023年度厚生調査委員会アンケート調査事業

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第19回 ～大腸憩室について②～ 安藤健一

2023年東京放射線総目次
研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2023 DEC CONTENTS

目次

| | |
|-----------------------------------------------------------|----|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 魅力 | 3 |
| 会告1 第23回公益社団法人東京都診療放射線技師会・ 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会… | 4 |
| 会告2 第148回日暮里塾ワンコインセミナー | 6 |
| 会告3 2023年度城北支部研修会 | 7 |
| 会告4 2023年度多摩支部研修会 | 8 |
| 会告5 第21回ウインターセミナー | 9 |
| 会告6 2023年度城南支部研修会 | 10 |
| 会告7 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について… | 11 |
| お知らせ1 2023年度第11地区研修会 | 12 |
| お知らせ2 2023年度第12地区研修会 | 13 |
| お知らせ3 2023年度厚生調査委員会アンケート調査事業 | 14 |
| お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 | 15 |
| 連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 第19回 ～大腸憩室について②～ | 16 |
| パイプライン ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.10) | 25 |
| 2023年4月～10月期会員動向 | 26 |
| 2023年度第6回理事会報告 | 27 |
| 2023年東京放射線総目次 | 30 |
| 研修会等申込書 | 34 |

Column & Information

| | |
|------------------------|----|
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 29 |
| ・東放技入会無料のお知らせ | 35 |

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



魅力

業務執行理事 宇津野 俊充

日頃より東京都診療放射線技師会の活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

2023年もあっという間に終わりを迎えようとしています。振り返ると、箱根駅伝では駒澤大学が完全優勝により3冠を達成、3月にはワールドベースボールクラシックで、日本が世界一になったことも記憶に新しいところかと思います。5月には広島にてG7が開催されゼレンスキー大統領が来日しました。イギリスでは70年ぶりに戴冠式が開催され、7月にはビッグモーター不正請求、井上尚弥選手の世界4階級制覇、日大アメフト部騒動、甲子園では慶應高校が生徒自ら考える野球で優勝、9月にはラグビー W杯が開幕、藤井聡太氏が前人未到の八冠、ジャニーズ騒動等々…。個人的には高校時代に部活動を行っていたバレーボールにおいて、男子日本代表がフランス五輪切符を獲得したことが一番のニュースでした。

今年は5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、本格的にポストコロナ、ウィズコロナ時代へ移ったのも大きな出来事であったと思います。新型コロナウイルス感染症は不安・恐怖などの精神的な影響、外出自粛、飲食店の営業制限等による生活・経済的な影響を与えましたが、一方でテレワークの普及、オンライン授業・オンライン会議などのオンラインツールの普及により時間・場所等の制約を受けることなく交流や学びを深めることができるようになり、環境意識の高まりによる再生可能エネルギーの普及など、悪い影響だけでなくさまざまな良い影響もあったと思います。また、今年に入ってからでは参集型の会議が開催される機会も増え、オンライン会議は便利だが、顔を合わせないと伝わらない、伝えられない内容もあると感じる瞬間を多く経験しました。

私の働いている築地では外国人観光客に溢れ、土日は歩く場所もないほど場外市場は人でいっぱいです。3年前のガラガラの状態を見ているだけに、日常が戻ってきたと改めて感じています。

各種学術大会についても完全会場型開催がようやく普通になってきました。私自身も熊本で開催された日本診療放射線技師学術大会、広島で開催された国立病院総合医学会に参加し、知識の向上、人々との交流を深めるだけでなく、熊本ではワンピース像巡り、広島では原爆ドームを訪れるなど、観光を楽しむことができました。

10月のある日、テレビを何気なく見ていると「都道府県魅力度ランキング」が発表されていました。都道府県魅力度ランキングは認知度、魅力、観光意欲、居住意欲などを尋ねることでランキング化したもので、北海道、京都、沖縄、東京、大阪が上位を占め、昨年同様とのことで納得の結果です。そして、私の出身、現在の居住地である茨城県が2年ぶりに最下位という結果でした。直近15年で最下位となるのはなんと12度目とのことです。

魅力とは人の心をひきつけて夢中にさせる力であり、魅了、魅惑などの魅—といった単語は日本で作られた和製漢語です。現在住んでいる茨城県に私自身満足していますし、悪くいうつもりはありませんが、ランキング上位の都道府県に比べると人々が魅せられる物が少ないとも正直感じます。

さて、われわれ公益社団法人東京都診療放射線技師会は「魅力」ある学会を目指し日々活動しています。地域清掃活動や区民祭参加などの公益活動、日暮里塾ワンコインセミナー・各地区研修会、学術大会等の学術活動、告示研修等の研修活動等々、さまざまな活動を通して診療放射線技師の技術向上と資格向上に向けて役員一丸となって活動しております。

また、会員入会率を向上させるため入会初年度会費無料、入会促進委員会を発足しリーフレットの作成等を行っています。会員の皆さまにおかれましても非会員の皆さまにお声がけいただき、本会への入会案内をしていただけると幸いです。

最後になりますが、今年は新型コロナウイルスに加えてインフルエンザも流行を見せております。皆さまにおかれましては、くれぐれもお身体にはお気をつけて年末をお過ごしください。



チョッパー像



原爆ドーム

会 告 1

第23回 公益社団法人東京都診療放射線技師会 合同学術講演会 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

テーマ「STAT画像報告について」

～ プログラム ～

【開会の挨拶】

【メーカー講演】「STAT画像報告に対してVINCENTができる事」

講師：富士フイルムメディカル株式会社 ITソリューション事業部 櫻井 雅博

【臨床講演】「脳神経外科病院におけるSTAT画像報告の取り組み」

講師：北原国際病院 放射線科 高野 唯史

— 休憩10分 —

【特別講演】「STAT画像所見ガイドラインの解説と今後の展開」

講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線部 木暮 陽介

日本診療放射線技師会 STAT画像報告分科会

【閉会の挨拶】

記

日 時：2023年12月23日（土）15時00分～17時00分

受講料：東京都診療放射線技師会 会員 500円

日本放射線技術学会 東京支部 正会員 500円、非会員 1,000円、学生 無料

開催場所：杏林大学 井の頭キャンパスA棟 101教室 ※Web配信はありません

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

定 員：100名（定員になり次第、終了とさせていただきます）

申込方法：URL、QRコードより「第23回 合同学術講演会」フォームへアクセス
いただき、事前登録をお願い致します。

登録された個人情報とは会場参加人数の把握と、認定ポイント付与に関する
管理以外に使用致しません。

URL：[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScUmncWwXXDsi5vja7Sk_
HquSd5K16-KqJFczazBlePFCrbA/viewform?usp=sf_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScUmncWwXXDsi5vja7Sk_HquSd5K16-KqJFczazBlePFCrbA/viewform?usp=sf_link)

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

TEL：03-3806-7724 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所

TEL：03-5804-2301 E-Mail：tokyobukai-adm@umin.ac.jp

以上



参加登録

第23回 合同学術講演会

(公社)東京都診療放射線技師会
(公社)日本放射線技術学会 東京支部

開催日 2023年12月23日(土) 15:00~17:00

参加費 正会員: ¥500 非会員: ¥1,000 学生: 無料

テーマ: 『STAT画像報告について』

会場: 杏林大学 井の頭キャンパス A棟 101教室
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1



会場アクセス

プログラム

【開会の挨拶】 (15:00~15:10)

【メーカー講演】 (15:10~15:30)

『STAT画像報告に対してVINCENTができる事』

講師: 櫻井 雅博

(富士フイルムメディカル株式会社 ITソリューション事業部)

【臨床講演】 (15:30~15:50)

『脳神経外科病院におけるSTAT画像報告の取り組み』

講師: 高野 唯史 (北原国際病院 放射線科)

-休憩10分-

【特別講演】 (16:00~16:50)

『STAT画像所見ガイドラインの解説と今後の展開』

講師: 木暮 陽介 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線部)

(日本診療放射線技師会 STAT画像報告分科会)

【閉会の挨拶】 (16:50~17:00)

参加登録方法

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScUmncWwXXDsI5vja7Sk_HquSd5K16-KqJFcaezBlePFCrBA/viewform?usp=sf_link



参加登録

参加登録期間: 2023年10月16日~2023年12月20日

会場収容人数に達した段階で登録を締め切る場合がございます。Web配信はありません
登録された個人情報は会場参加人数の把握と認定ポイント付与に関する管理以外に使用致しません

お問い合わせ

公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所 Tel 03-3806-7724 Mail : gakujiu@tart.jp

公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所 Tel 03-5804-2301

Mail : tokyobukai-adm@umin.ac.jp

会 告 2

第148回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催） テーマ「学術・教育委員が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術・教育委員が選んだ発表演題」をWeb開催致します。

本年度開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会、第39回日本診療放射線技師学術大会において発表された演題の中から学術委員、教育委員が協議し10演題選出させていただきます。

学会に参加できなかった方、参加したけれど聞けなかった方、もう一度聞きたい方、多くの方の参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年1月10日（水）18時30分～20時10分

受 講 料：無 料

開 催 方 式：Web開催（Zoom）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2024年1月3日（水）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 城北支部研修会 (Web開催)

テーマ「スタッフの不調は「食事」が原因!? 事例から解説するスタッフの心と体のヘルスケア 1品100円置き型社食[®]」

講師：スタンフォード大学精神医学・行動科学講座／東京医科大学精神医学分野 志村 哲祥 先生
株式会社OKAN 清水 要 氏・藤田みずき 氏

皆さま、健康な食生活を意識していますか？

2023年度の城北支部研修会では、東京医科大学精神医学分野 志村哲祥先生を講師にお迎えして、メンタルヘルスと食事の重要性についてご講演いただきます。

睡眠・食事・運動などの生活習慣とメンタルヘルスは強く関連するといわれます。

その中でも食事にターゲットをおいて、どのような食事や食べ方が精神状態に影響するのか？ 食を通じてスタッフのモチベーションはどのように上がるのか？ など、産業医面談の実例等を交えてお話ししていただきます。

また、スタッフ控室などに置き型社食で、健康的な食事をサービスする企業様の取り組みを紹介します。

昼食時に『もう一品欲しい!』、夜勤時に『ちょっと小腹が空いたがお店に買いに行く時間がない!』そのような時に、簡単に便利に利用できる置き型社食の導入方法から、どのようなお惣菜が提供されているのかをご紹介します。

皆さん自身の普段の栄養バランスはいかがですか？ 『医者の不養生とは言いますが、私たち医療従事者も他人ごとではございません!!』一緒に食事から心と体の健康を見直してみましょう！

ご参加をお待ちしております。

※「置き型社食[®]」は株式会社OKANの登録商標です。

開催形式は、ZoomによるWeb開催予定です。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年1月26日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

定 員：50名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月19日（金）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyohoku@tart.jp

第5地区委員長 中田健太

第6地区委員長 伊佐理嘉

第16地区委員長 関谷 薫（城北支部委員長）

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告 4

2023年度 多摩支部研修会 (Web開催)

テーマ「小児撮影のいろは」

講師：総合母子保健センター 愛育病院 診療放射線科 上田 万珠代 氏

皆さまの施設では小児撮影は、どのように行っていますか？ 専用の撮影補助具は使いこなせていますか？ 日勤帯のスタッフが揃っている時は対応できるが、休日・夜間帯で一人での対応に不安はありませんか？

検査の説明や接遇、撮影準備から補助具などを用いた撮影のポイント。加えて小児の画像診断、特徴的な画像所見まで、小児撮影の基礎を中心に小児科に特化した病院の診療放射線技師を講師に招き、お話しいただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月2日（金）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月26日（金）

問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

第13地区委員長 鮎川幸司（多摩支部委員長）

第12地区委員長 吉村 良

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第21回ウィンターセミナー テーマ「一般撮影の画像処理と最新情報」

講師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 講師未定
コニカミノルタジャパン株式会社 林 哲平 氏
富士フイルムメディカル株式会社 伊藤 大樹 氏

一般撮影の画像イメージ処理方法について、各メーカーの方から解説をしていただきます。
基本的にはオートマチックで画像処理が行われていますが、撮影体位や撮影位置によっては適正な画像処理が行われないこともあります。読影しやすい画像作成のための処理方法について皆さまと一緒に情報共有したいと思います。そして、各メーカーによる最新情報についても伝えていただきます。
会場型対面形式にて開催を致します。参加費については、当日会場受付にて徴収致します。
参加者の皆さまが安心して参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

記

日 時：2024年2月3日（土）15時00分～17時00分
場 所：東京医科大学病院 自主自学館3階 大教室
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1
ア ク セ ス：東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅下車 2番出口 または E5番出口よりすぐ
都営大江戸線 都庁前駅下車 A7番出口より徒歩約7分
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円、
新卒かつ新入会員* 無料
申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会
等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
定 員：100名（定員になり次第、締め切らせていただきます）
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与
問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2023年度 城南支部研修会 (Web開催)

今回は、私たち診療放射線技師にとって必須の知識、一般撮影と被ばく相談について、日本診療放射線技師会 骨関節撮影分科会と放射線被ばく相談員分科会から、分科会長を講師にお招きして活動や最近のトピックスなどを講演いただきます。

講演1 「一般撮影を組み立てる」

講師：JART骨関節撮影分科会 分科会長／清水赤十字病院 中川 英之 氏

講演2 「放射線被ばく相談員分科会の紹介と活動、最近のトピックス」

講師：JART放射線被ばく相談員分科会 分科会長／群馬県立県民健康科学大学 五十嵐 博 氏

- ・一般撮影の経験が浅い方
- ・久しぶりに一般撮影に配属された方
- ・定年後の再就職を検討している方
- ・仕事にブランクのある方
- ・他施設との交流がなく我流ではないか？ と思いの方

お心当たりのある方、ない方も、是非ご参加ください。

Zoomを利用した講演ですので、遠方からのご参加も歓迎しています。

非会員の方でもご興味のある方はぜひご参加ください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月20日（火）19時00分～21時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月13日（火）

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail：shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長 原子 満（城南支部委員長）

第4地区委員長 上田万珠代

第8地区委員長 大津 元春

第11地区委員長 名古 安伸

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

本会ではソウル特別市放射線士会との学術交流協定に基づき、下記日程の学術大会で研究発表を行う会員に対して渡航費および滞在費の一部を助成します。

この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

| | |
|-------|---------------------------------------------------------|
| 学 会 名 | 2024年ソウル特別市放射線士会学術大会 |
| 開催期間 | 2024年3月14日(木)～17日(日) (International session : 3月16日) |
| 会 場 | 大韓民国ソウル市・COEX ソウル特別市 江南区 三成洞159貿易センターCOEX |

記

【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします。
- ② スライドもすべて英語表記とします。
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします(期限は演題採用決定後通知)。

【2】応募資格

公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員で、2023年度会費完納者に限ります。

【3】募集演題数：2題

応募演題の中から学術・教育・国際委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

【4】応募方法および期限

応募演題抄録を2023年12月26日(火)までにメールにて送付してください。

※応募演題抄録について

図表なしで目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ1枚以内で作成してください。
なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

送付先(お問い合わせ)アドレス：tart@tart.jp

(メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください)

【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

以上

お知らせ 1

2023年度 第11地区研修会

テーマ「胸部X線透視動画を用いた肺血流イメージング」 ～非造影で行う肺血流解析～

講 師：東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 講師 池田 長生 先生
循環器内科 助教 佐藤 学 先生
株式会社メディオット 吉田 典史 氏

肺塞栓症の鑑別やその治療効果判定など、肺血流を評価したい場面は数多くあります。しかし、被ばく量が多いことや造影剤を使用しなければならないなど患者への負担が大きくなります。

今回ご紹介するソフトウェアは、低被ばく・造影剤不使用の撮影と、数ステップの操作で肺血流情報を得ることができます。

そこで、本研修会では、ソフトウェアの概要と使用経験を、ソフトウェアベンダーの方と実際に使用されている施設の方からお話をさせていただくこととなりました。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

記

日 時：2024年1月25日（木）19時00分～20時30分

開 催 場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
東京都目黒区大橋2-22-36

ア ク セ ス：東急田園都市線 「池尻大橋」駅 北口 徒歩3分
京王井の頭線 「駒場東大前」駅 西口 徒歩10分

定 員：50名程度（先着順）

受 講 料：500円（一般・学生：無料）

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月18日（木）

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：area11@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第12地区研修会 (Web開催)

テーマ「整形外科医に聞く 骨粗鬆症における画像解析の必要性 ～DEXA法、CT画像再構成～」

講 師：東大和病院 整形外科科長 山岸 賢一郎 先生

現在、高齢化社会が進むなか骨粗鬆症患者が1,000万人を超えるといわれ、社会問題のひとつとなっています。日々の業務でも椎体骨折、大腿骨近位部骨折などに高い頻度で遭遇しているはずです。その原因のひとつである骨粗鬆症を予防するためには、骨質、骨量から骨の強度を把握するDEXA法が欠かせません。「骨密度なんて誰でも撮れるだろ」と軽く考えていませんか？

普段、「骨折をした」ときの画像診断が注目されがちですが、今回、「骨折をしない」ための予防医学に必要な画像解析に注目して、DEXA法を中心に、整形外科医師の視点から詳しく解説していただきます！

整形外科領域にとって画像診断は欠かせないものであり、われわれの撮影した画像がいかに必要とされ、治療に活用されているかを知る貴重な時間になるはずです。新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

記

日 時：2024年2月8日（木）19時00分～20時00分

開催方式：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月4日（日）20時00分

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：area12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 3

2023年度厚生調査委員会アンケート調査事業 『施設別給与実態調査』

東京都医療施設所属長へ アンケート調査ご協力をお願い

厚生調査委員会

厚生調査委員会では、診療放射線技師の給与実態調査を不定期に行ってきました。近年は新型コロナウイルス感染症による医療情勢の変化、医師の働き方改革によるタスク・シフト/シェアの推進など診療放射線技師を取り巻く情勢に変化があります。その影響と過去との推移を調査し、現状を把握・分析するためにアンケート調査を実施させていただきます。

皆さまに現状を報告するとともに、今後の業務や診療放射線技師の働き方を向上させていくための参考としていただきたく、下記の通りアンケート調査を実施致します。

後日、施設長宛てにシリアルナンバー付きのはがきを発送致しますので、主旨をご理解いただき本アンケート調査にご協力をお願い申し上げます。

要 項

1. この調査は東京都診療放射線技師会の2023年度事業計画に基づいて実施されます。
2. 調 査 名：東京都内医療施設における診療放射線技師の給与実態調査
3. 調査対象者：東京都内医療施設 放射線部門所属長
4. 回 答 期 限：2023年12月31日（日）
5. 調 査 方 法：Webブラウザを利用した入力方式（PC、スマートフォンなど）
6. 調査情報の取扱い：重複回答の管理を目的として付与された回答管理番号が記載された調査依頼施設管理表は、個人情報管理者が厳重に保管し、いかなる場合でも個人情報管理者以外は閲覧することができません。また、回答管理番号から施設を特定することもできません。この調査結果は学会誌や学会にて報告する場合があります。この回答は一定期間の保存の後に削除します。

*QRコードの有効期限は回答期限に準ずる

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。



公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

| | | | |
|------|------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 城東支部 | 第1地区 | 千代田区 | 地区紹介  |
| | 第2地区 | 中央区、台東区 | 地区紹介  |
| | 第7地区 | 墨田区、江戸川区、江東区 | 地区紹介  |

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

～大腸憩室について②～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、番外編として硫酸バリウム製剤について、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

前回のあらい

大腸憩室は、結腸の粘膜および粘膜下層が結腸の固有筋層を越えて突出した袋状の構造であり、腸管の全ての層を備えていないことから、仮性憩室とみなされます。

組織学的には、固有筋層が途絶または固有筋層を有さず袋状に突出した状態です（図1）。

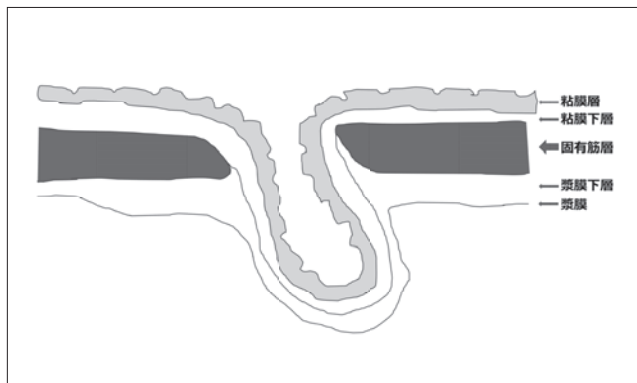


図1

憩室に至る成因としては、腸管の内圧の上昇に伴い、大腸壁の固有筋層の弱い部分（たとえば血管など）が腸管壁を貫き、粘膜が脱出して憩室が生じると考えられています。

具体的には、腸管壁には細かな血管が外側から入ってくる場所があり、そこでは血管が腸管壁の固有筋層を貫いており、固有筋層が小さく欠損しているため圧力に弱いといわれます。便秘で大腸の内圧が上昇した状態や、加齢に伴う影響などで、圧に耐えられなくなると腸管壁が外に押し出されて憩室ができると考えられています。

日常臨床でよく目にする典型的な大腸憩室の画像を供覧します（図2～図4）。

典型的な大腸憩室は、図2・図3のように単発よりは複数の憩室が散見されるパターンが多く、また図4のように沢山の憩室が密集した状態の多発憩室として認められることもよくあります。

大腸憩室の好発部位は、S状結腸（左側結腸）や上行結腸（右側結腸）とされ、一般的に高齢者・欧米人ではS状結腸に多く、若年者（40歳代～）・日本人では上行結腸に多いとされます。

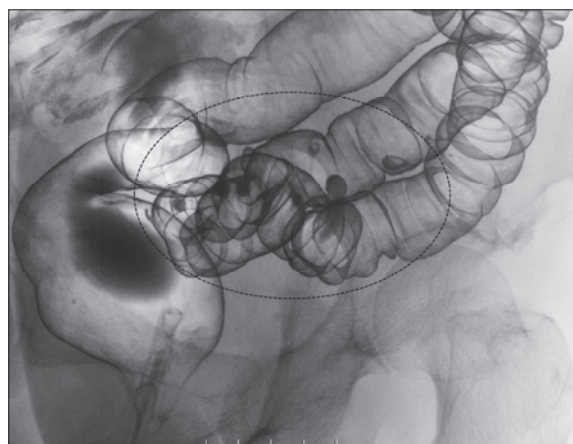


図2

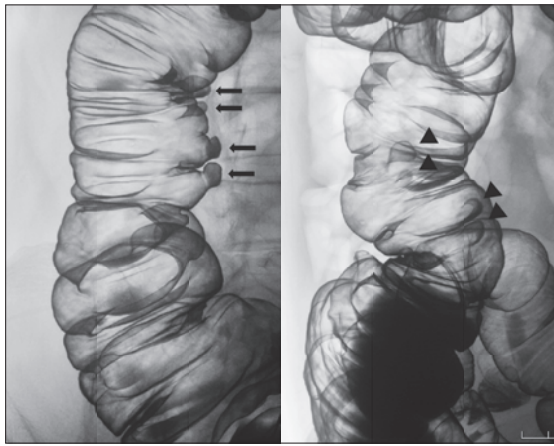


図3

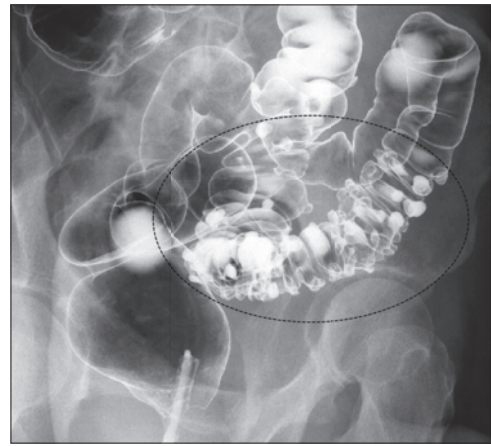


図4

大腸憩室自体は通常は無症状です。問題となるのは、高度な狭窄を伴う腸閉塞を合併した場合、炎症を起こしたとき（憩室炎）や出血したとき（憩室出血）です。

憩室は腸の壁が薄い場所にあるため、炎症が強いと穿孔して膿瘍を形成することがあり、強い腹痛や発熱を伴い急性腹症となります。さらに腹部全体に炎症が広がった汎発性腹膜炎となると、敗血症やショック（血圧が急激に低下し臓器の機能障害などを起こすこと）に陥る危険性があります。汎発性腹膜炎を起こさなくても、近くにある臓器、例えば膀胱まで炎症が届き、瘻孔（臓器が他の臓器や体外と交通している状態）を形成することもあります。その場合は排尿困難、糞尿（尿に便が混じること）、気尿（尿に腸管ガスが混じること）を発症することがあります。

今回は、大腸憩室に起因した合併症を併発した症例等を提示させていただきます。

1 症例①

60歳代男性。下腹部痛の既往あり（経過観察にて改善）。大腸内視鏡検査にてS状結腸以深に内視鏡が通過せず、同日に注腸X線検査を施行。事前情報として、通常の経口腸管洗浄法にて腸閉塞症状等の出現はなく、問題なく前処置が施行されました。

注腸X線検査の画像を供覧します（図5～図25）。

S状結腸に中等度の狭窄、腸管の狭小化を認めます。その狭窄部を中心に大小不動・形も不揃い・歪な憩室を複数個認めます。

造影剤と空気は容易に通過しますので慎重に深部結腸に造影剤を進め、全大腸を二重造影で撮影、スクリーニングすることができております。下行結腸・上行結腸・盲腸に憩室が散見されます。

図25の圧迫スポット撮影にて、S状結腸の病変部をよく観察してみると、大小不動・歪な形の憩室を認めますが、粘膜の不整や顆粒状変化、口側・肛門側ともに結節状の周堤様隆起等の腫瘍性病変を示唆する所見を認めません。以上のことより、憩室炎または憩室炎後による腸管の伸展不良・狭小化による中等度のS状結腸狭窄と考えられます。

鑑別としては、大腸癌による狭窄が考えられますが、この場合、先にも述べた通り、狭窄部の辺縁の所見が重要となります。狭窄部の口側と肛門側の辺縁に上皮性の粘膜変化、粘膜不整や周堤様の結節状隆起の有無を丁寧に確認する必要があります。そうした質的な診断をするためには、精度の高いきれいな（診断可能な）画像が求められます。

臨床的にもう1点大事な事として、内視鏡が通過しない場合でも、代替検査として、注腸X線検査にて深部結腸を正確にスクリーニングすることが重要となります（もちろん大腸CTでも良いと思います）。



図5



図6



図7



図8



図9



図10

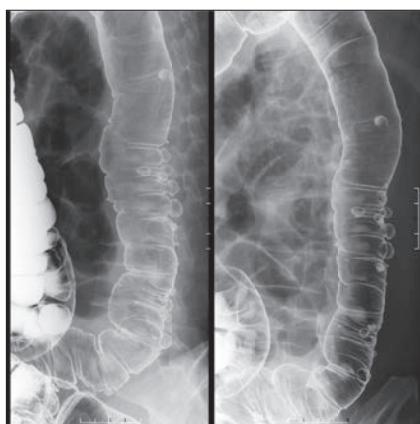


図11



図12



図13



図14



図15

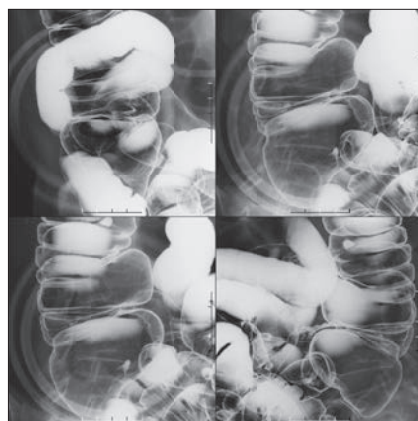


図16

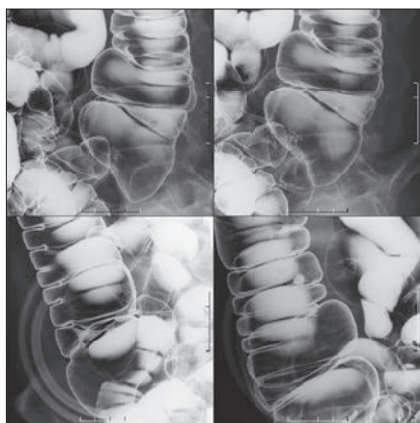


図 17

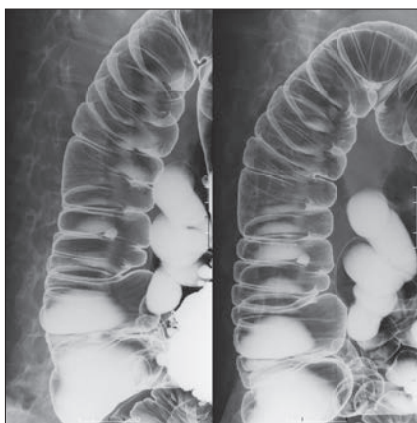


図 18



図 19



図 20



図 21



図 22



図 23

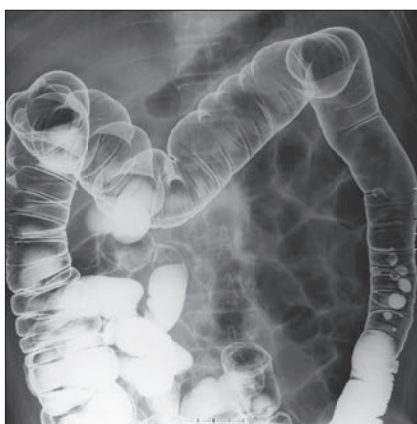


図 24



図 25

2 | 症例②

60歳代男性。下腹部痛の精査加療目的で入院。注腸X線検査の画像を供覧します（図26～図46）。

まず大きな所見として、S状結腸に長さ約8cm前後にわたる腸管壁の伸展不良・狭小化、中等度以上の狭窄を認めます。造影剤と空気は容易に通

過したので慎重に深部結腸に造影剤を進め、全大腸を二重造影で撮影、スクリーニングすることができております。やや前処置不良ですが下行結腸に憩室を認める以外に粗大病変は指摘できません。主病巣であるS状結腸をみると、伸展不良・狭小化部位に歪な形の憩室を認めます。図26～図28を詳細にみると、一見すると腸管外に漏れ出た（リーク）様な造影剤を認めます。図42～図46の拡大画像でより詳細にみると、漏れ出た



図26



図27



図28



図29



図30



図31



図32



図33



図34



図 35



図 36



図 37



図 38



図 39



図 40



図 41

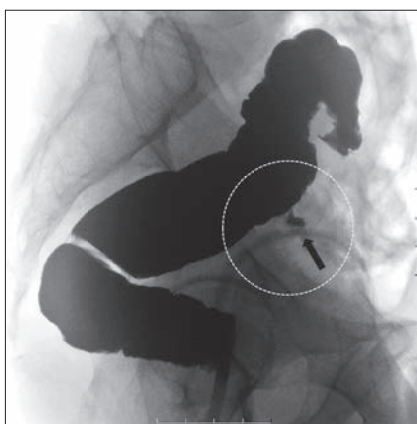


図 42

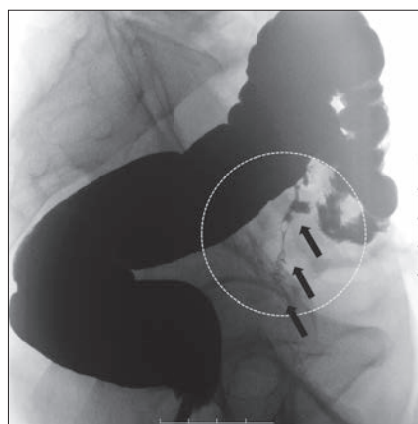


図 43

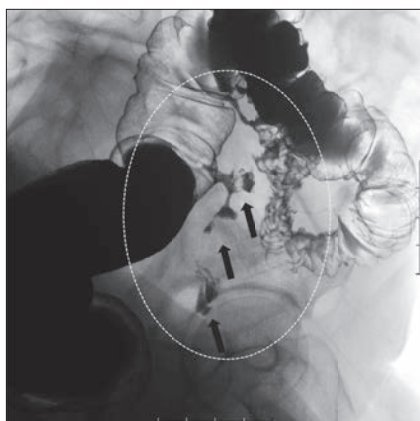


図 44

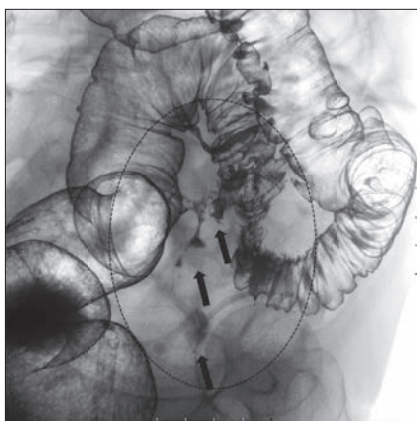


図 45



図 46

(リーク) 様な造影剤は腹腔内に漏れたのではなく (いわゆる穿孔ではなく)、被包化されており、瘻孔を形成しているものと考えられます。これらを検査中の透視化において迅速に予測・判断することも重要となります。

瘻孔形成については、注腸X線検査画像より、直腸S状部とS状結腸との明らかな瘻孔形成と判断することができ、また他臓器 (膀胱) との瘻孔

形成も疑う所見です。

CTの矢状断像より、腸管壁の肥厚と膀胱壁の肥厚・気腫像をみとめ、冠状断像では、同様な所見と著明な引きつれ、腸管と膀胱の瘻孔化を認めます。MRI画像においても同様の所見となります (図47～図52)。

外科的に切除され、最終診断は、画像診断と同様に、憩室炎による結腸膀胱瘻と診断されました。

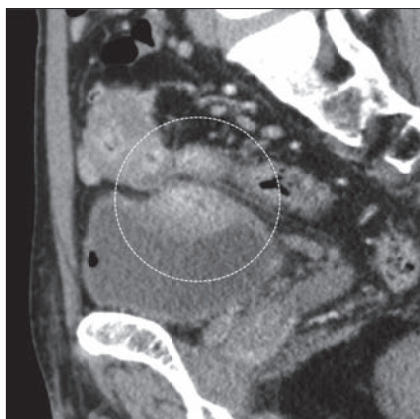


図47

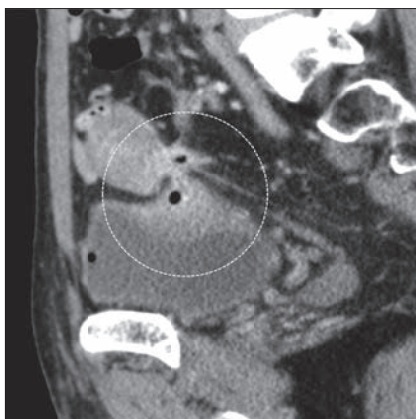


図48

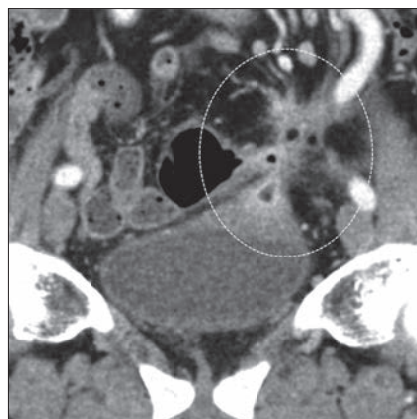


図49

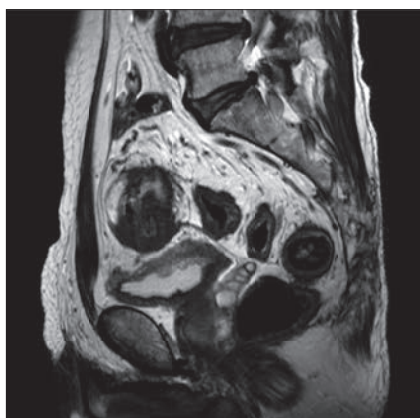


図50

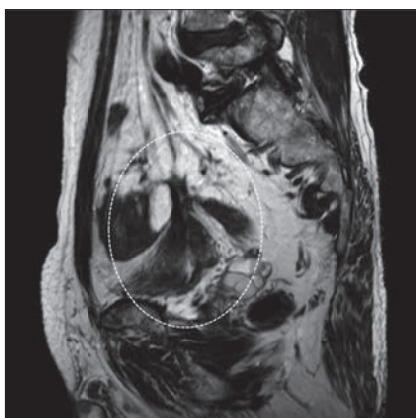


図51

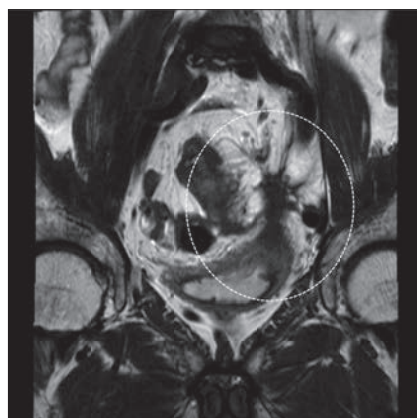


図52

3 | 症例③

60歳代女性。左下腹部痛の精査加療目的で入院。初診時のCT画像を提示します (図53～図57)。

単純CT冠状断画像において、左側結腸に憩室炎によるものと思われる、炎症所見、脂肪織の濃度上昇とExtraluminal Air (腸管外ガス) を認めます。憩室炎によるmicroperforation (微小穿孔)

が疑われる所見です。

後日実施された、注腸X線検査画像を提示します (図58～図65)。

下行結腸に複数の憩室を認めます。詳細にみると、矢印で図示された憩室は他と比べ形が歪で不整形であるのが分かります。特に造影剤注入初期の図58・図59の画像は造影剤が微細に腸管外に漏れているようにもみえます (実際には漏れていない)。

CTの所見と合わせて評価すると、この不整

な憩室（矢印）が、今回の憩室炎による microperforation（微小穿孔）の責任病巣だと考えられます。

最後に図65の拡大画像に、注腸X線検査画像における、憩室炎による microperforation（微小穿孔）の癒痕の所見を呈示します。

大腸憩室は、日常臨床においてよく遭遇する所見・画像です。そして憩室そのものは、臨床的に特に問題とならない場合が多いです。しかしながら、時として憩室炎や急性腹症の原因になることもあります。注腸X線検査では、憩室の数や分布・形などを客観的に評価することも可能です。



図 53



図 54

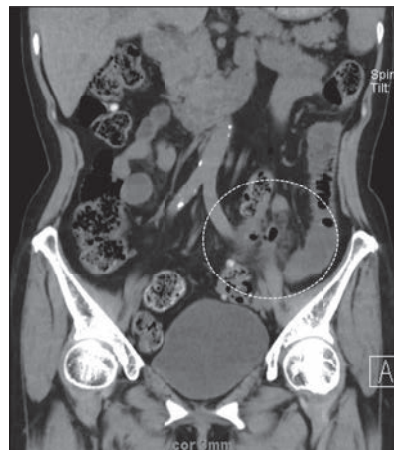


図 55

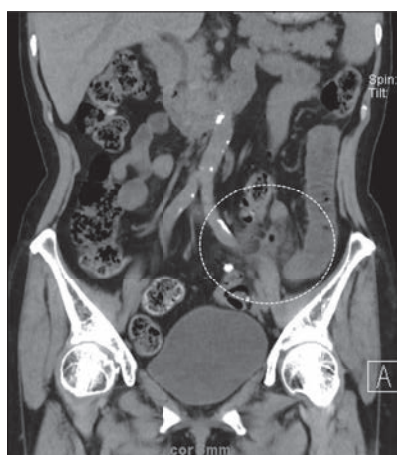


図 56



図 57

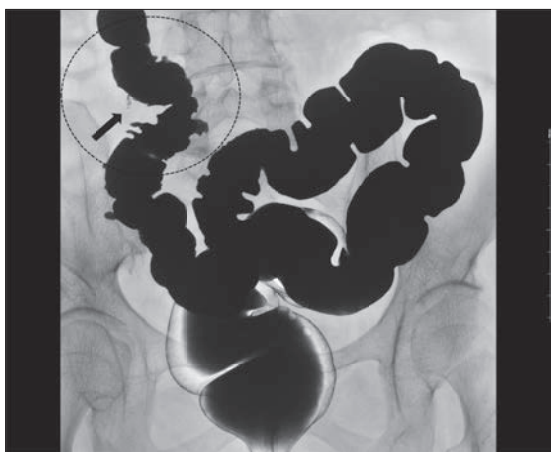


図 58

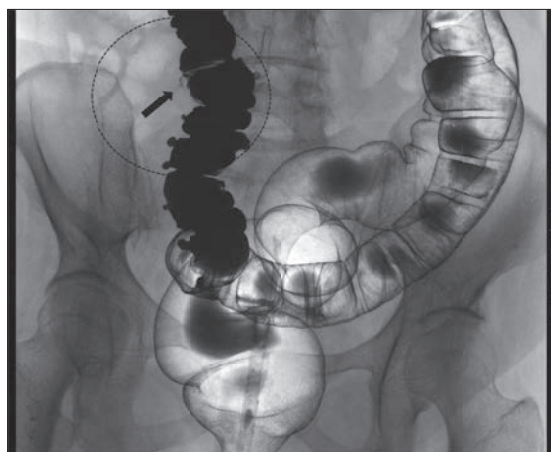


図 59

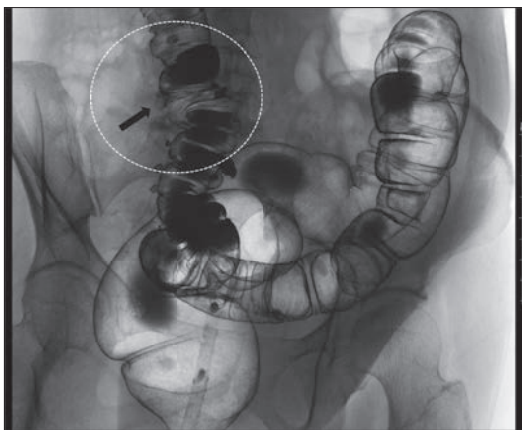


図 60

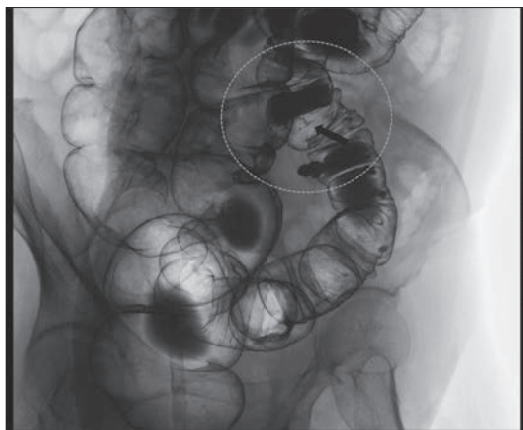


図 61

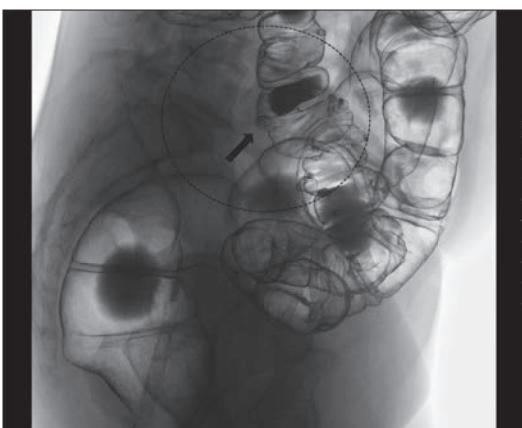


図 62

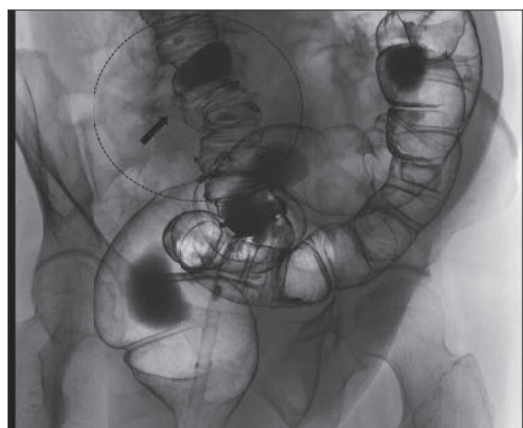


図 63

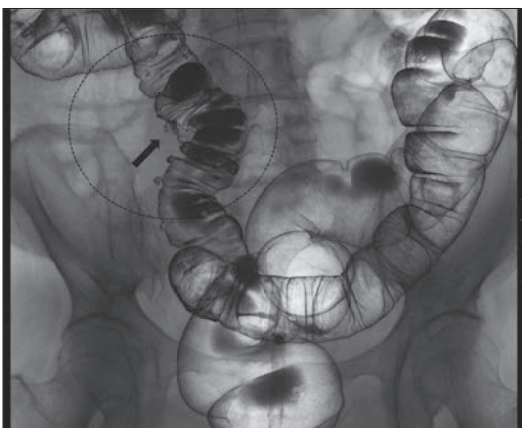


図 64

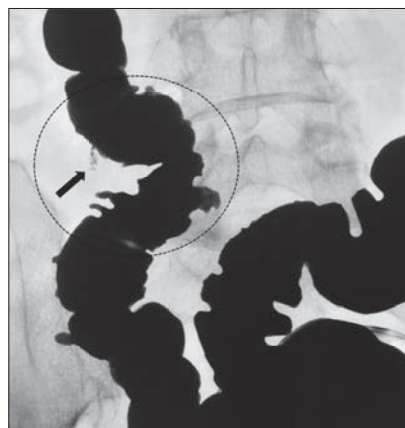


図 65

4 | おわりに

今回は、大腸憩室について、その概念や発生機序、合併症についてお話しさせていただきました。また症例は、合併症を伴う大腸憩室症の症例を中心に提示させていただきました。

参考文献

- 大腸の憩室症：MSD マニュアル家庭版 (msdmanuals.com)

日本診療放射線技師連盟

2023 No. 10 ニュース

(通巻No.90)

発行日 令和 5 年 10 月 30 日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 9月28日(木) 加藤勝信君と日本の未来を語る会に出席
- ② 10月12日(木) 畦元将吾活動報告会(西内健候補)開催
- ③ 10月13日(金) 第3回理事会を開催、木暮陽介氏が第6代理事長に就任
- ④ 10月18日(水) 畦元将吾活動報告会(金子容三候補)開催
- ⑤ 10月20日(金) あぜもと将吾君を励ます会に出席



事務局からのお願い

畦元将吾代議士後援の自民党入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金

口座番号:0667669

加入者名 日本診療放射線技師連盟



会員動向

2023年4月～10月期

| 年 月 | 月末会員数 | 新 入 | 転 入 | 転 出 | 退 会 |
|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 2022年度末集計 | 2,448 | 210 | 38 | 31 | 90 |
| 2023年 4月 | 2,477 | 26 | 8 | 3 | 2 |
| 2023年 5月 | 2,512 | 32 | 5 | 1 | 1 |
| 2023年 6月 | 2,549 | 36 | 5 | 1 | 3 |
| 2023年 7月 | 2,584 | 32 | 4 | 1 | 0 |
| 2023年 8月 | 2,606 | 25 | 0 | 1 | 2 |
| 2023年 9月 | 2,620 | 15 | 0 | 0 | 1 |
| 2023年10月 | 2,642 | 29 | 2 | 4 | 5 |

光製薬の造影剤

処方箋医薬品
非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール300注シリンジ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL〔HK〕
イオヘキソール350注シリンジ70mL/100mL〔HK〕
(日本薬局方 イオヘキソール注射液)

イオヘキソール注シリンジ

処方箋医薬品
非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載

イオバミドール300注シリンジ50mL/80mL/100mL〔HK〕
イオバミドール370注シリンジ50mL/65mL/80mL/100mL〔HK〕
(日本薬局方 イオバミドール注射液)

イオバミドール注シリンジ

処方箋医薬品
環状型非イオン性 MRI 用造影剤 薬価基準収載


ガドテリドール静注シリンジ13mL〔HK〕
ガドテリドール静注シリンジ17mL〔HK〕
(ガドテリドール注射液)

ガドテリドール静注シリンジ

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>

 **光製薬株式会社**
(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2-11-15
TEL 03(3874)9351 FAX 03(3871)2419

2021年1月作成

News

12月号

日 時：2023年10月5日（木）
午後7時00分～7時40分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、
宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、
市川篤志、小林隆幸、長谷川雅一、渡辺靖志、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第4
地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊
佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区
委員長）、大津元春（第8地区委員長）、澤田恒
久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委
員長）、吉村 良（第12地区委員長）、宮谷勝
巳（第14地区委員長）、小野賢太（総務委員）、
村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：布川嘉信

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：野口幸作（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

会長挨拶

先週行われた第39回日本診療放射線技師学術大会について、発表または座長を務めた方々に対して労いの言葉を申し上げる。10月に入って本年度も下半期となり、大きな事業が多々控えている。引き続き、皆さまと協力して計画的に事業を推進してまいりたい。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・9月9日の統一講習会に出席したので追加をお願いしたい。入会促進委員会に関して、今後パンフレットの作成班とホームページ班に分かれて展開していく。近
日中に情報委員会と会議を行い、入会促進に向けたホームページの内容について検討する。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野俊充 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①第11地区研修会

テーマ：「胸部X線透視動画を用いた肺血流イメージング」－非造影で行う肺血流解析－

日 時：2024年1月25日（木）19：00～20：30

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂

名古安伸 第11地区委員長：

専門部委員会と日程が重なってしまったので再度調整したが、講師の都合で変更ができなかった。お詫びを申し上げる。

鮎川幸司 第13地区委員長：

会場参加型で開催とのことであるが、参加費は徴収しないのか。

関 真一 副会長：

会場費用の有無に関わらず、規約では地区研修会の参加費は500円となっている。

名古屋安伸 第11地区委員長：

それでは参加費は500円とさせていただきます。

浅沼雅康 編集委員長：

一般および学生の参加費を無料にするかは任意であるが、確認させていただきたい。

名古屋安伸 第11地区委員長：

一般および学生の参加費は無料としたい。審議をお願いする。

市川篤志 学術委員長：

規定では講師が医師の場合、謝金は2万円であるが1万円で良いのか。

名古屋安伸 第11地区委員長：

講演時間が1時間に満たないということで1万円とさせていただきます。

野口幸作 副会長：

総務委員会より年間事業予定が配信されている。地区研修会等の事業は他と重複しないよう、配慮をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

2) 委員新任変更申請について

鈴木雄一 総務委員長：

半年に一度の委員新任変更申請の議案となる。名簿は別途配信したものをご確認いただきたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

3) SRTAとの国際交流協定書について

江田哲男 会長：

本会はソウル特別市放射線士会(SRTA)と国際交流の協定を結んでいる。新型コロナウイルスの影響で交流が途絶えていたが、本年度より再開した。国際交流協定書は5年ごとに更新となっており、SRTAより更新の調印を結びたいとの連絡を受けた。本会としては、今後も学術を中心に交流を図りたいと考えている。協定書の内容は前回と同様となっている。例年、SRTAの学術大会に本会から演題派遣を行っている。今後は発足した国際委員会を中心に、入念な準備の上で会員から演題を募集したい。ペイシエントケア学術大会において、SRTAを招待しているが、今後は学会形式のセッションを市川学術委員長と検討している。協定書への調印について審議をお願いする。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

4) 東京支部合同学術大会準備について

江田哲男 会長：

8月29日に谷畑支部長と東京支部合同学術大会につ

いて会議を行った。今後の方針として、2026年の秋頃に学術大会を開催予定であり、そのための会議を本年度中に行う予定である。また、年度内に学術大会の骨子を作成したいと考えている。まずは、双方の理事会で承認を得てから準備を進めてまいりたい。審議をお願いする。

鈴木雄一 総務委員長：

今後は、ペイシエントケア学術大会を含めて年に2回学術大会を行う方針なのか。

江田哲男 会長：

現時点で毎年行うかは想定していない。予算の編成や準備に大きな負担がかかるためである。学術委員会と今後検討を進めてまいりたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

5) 新入退会について

9月：新入会15名、退会1名

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

今回は特になかった。

連絡事項

長谷川雅一 広報委員長：

10月15日に練馬まつり、10月22日に中央区健康福祉まつりが開催される。人員調整をしていただいた各地区の委員長の皆さまには感謝申し上げます。11月4・5日にOTAふれあいフェスタ、11・12日に東村山市民健康のつどいも開催されるので、こちらもご協力をお願いしたい。

高野修彰 渉外委員長：

10月2日、篠原顧問が東京都功労者表彰の医療功労を受賞されたことを報告する。

市川篤志 学術委員長：

11月25日の13時からペイシエントケア学術大会を開催する。パンフレットを作成したので、後日に皆さまに送らせていただく。また係等の分担については問題ないので、各地区で参加をお願いしたい。

江田哲男 会長：

ペイシエントケア学術大会は歴史のある学術大会で、チーム医療推進協議会よりも早くできたチーム医療をテーマにした学術大会になる。診療放射線技師以外の職種の方々をお呼びしてディスカッションができる場になるので是非、各地区からの参加、広報をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

合同学術講演会を12月23日(土)STAT画像の報告

をテーマに杏林大学での開催を企画している。来月に事業計画として上げるので参加をお願いしたい。

江田哲男 会長：

STAT画像について先日の第39回JCRTの日放シンポジウムとしてSTAT画像のセッションがあり、その中で近日中にSTAT画像のガイドラインがリリースされるとのことであった。今回の合同講演会ではガイドラインについてのアナウンスや説明が行われていると思うので是非参加をお願いしたい。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

10月25日に東京都の立入検査が行われる。専門部

委員会がその翌日に開催されるので早めに資料を送っていただきたい。中間監査を立入検査の前の14日に予定している。本年度上半期の資料に関して足りない書類もお願いするのでご協力をお願いしたい。11月に関してはOTAふれあいフェスタ、第13地区研修会、城西支部研修会が行われるので参加をお願いしたい。年末に事業計画案のWordの書式と別に次年度の予算予定についてのExcelを送るので、年内に計画案と予算書を送っていただき、1月にそちらをまとめて原案を作成し、2月に確認を行うのでご協力をお願いしたい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会

第23回メディカルマネジメント研修会

未定

☆第21回ウインターセミナー

2024年2月3日(土)

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

第148回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催

2024年1月10日(水)

☆3. 第23回東放技・東京支部合同学術講演会

2023年12月23日(土)

4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会

未定

☆5. 支部研修会

城北支部研修会 Web開催

2024年1月26日(金)

多摩支部研修会 Web開催

2024年2月2日(金)

城南支部研修会 Web開催

2024年2月20日(火)

6. 地区研修会

第11地区研修会

2024年1月25日(木)

第12地区研修会 Web開催

2024年2月8日(木)

7. 専門部委員会研修会

SR推進委員会研修会

未定

8. 地球環境保全活動

9. 東放技参加 行政祭り等

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

2023年 東京放射線 総目次

Vol.70 No.812~822

1月号 Vol.70 No.812

| | |
|-------------------------------|-------------|
| 謹賀新年 | 1 |
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 年頭所感「虚心坦懐」 | 会長 江田哲男 4 |
| 会告1 第143回日暮里塾ワンコインセミナー | 学術委員会 5 |
| 会告2 第20回ウインターセミナー | 学術委員会 6 |
| 会告3 第17回バイシエントケア学術大会 | 学術委員会 7 |
| 会告4 2022年度第1回災害対策研修会 | SR推進委員会 8 |
| 会告5 2022年度城南支部研修会 | 城南支部委員会 9 |
| 会告6 2022年度第2回災害対策研修会 | SR推進委員会 10 |
| お知らせ1 2022年度第3地区研修会 | 第3地区委員会 11 |
| お知らせ2 2022年度第4地区研修会 | 第4地区委員会 12 |
| お知らせ3 2022年度第16地区研修会 | 第16地区委員会 13 |
| お知らせ4 2022年度第12地区研修会 | 第12地区委員会 14 |
| お知らせ5 2022年度第5地区研修会 | 第5地区委員会 15 |
| お知らせ6 2022年度第9地区研修会 | 第9地区委員会 16 |
| お知らせ7 会費納入のお願い | 17 |
| 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会 資料 | 18 |
| 東京都功労者表彰 | 22 |

| | |
|----------------------------------------------|---------|
| 連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 | |
| 第10回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～狭窄を伴わない大腸進行癌 (MP症例) ～ | 安藤健一 24 |

こ え

| | |
|---------------------------|----------|
| ・3年ぶりの広報活動 | 広報委員会 30 |
| ・中央区健康福祉まつりに参加して | 片岡夏美 31 |
| ・OTAふれあいフェスタ体験記 | 遠藤孝音 32 |
| ・OTAふれあいフェスタに参加させていただいた感想 | 長谷川哲朗 32 |
| ・OTAふれあいフェスタに参加して | 古川早姫 33 |
| 2022年4月～11月期会員動向 | 34 |
| 2022年度第8回理事会報告 | 35 |
| 研修会等申込書 | 42 |
| 登録事項変更届 | 43 |

Column & Information

| | |
|------------------|----|
| ・求人情報 | 34 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 40 |

2月号 Vol.70 No.813

| | |
|-------------------------------|------------|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 節分に想う | 副会長 関 真一 3 |
| 会告1 2022年度多摩支部研修会 | 多摩支部委員会 4 |
| 会告2 2022年度第1回災害対策研修会 | SR推進委員会 5 |
| 会告3 2022年度城南支部研修会 | 城南支部委員会 6 |
| 会告4 2022年度第2回災害対策研修会 | SR推進委員会 7 |
| 会告5 第75回定期総会での表彰 (勤続20年) について | 渉外委員会 8 |
| お知らせ1 2022年度第12地区研修会 | 第12地区委員会 9 |
| お知らせ2 2022年度第5地区研修会 | 第5地区委員会 10 |

| | |
|---------------------------------|-------------|
| お知らせ3 2022年度第9地区研修会 | 第9地区委員会 11 |
| お知らせ4 2022年度第11地区研修会 | 第11地区委員会 12 |
| お知らせ5 2022年度第6地区研修会 | 第6地区委員会 13 |
| お知らせ6 JARTにおいて会費未納除籍者に債権回収委託を開始 | 14 |
| お知らせ7 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 15 |
| 叙 勲 瑞宝単光章 | 16 |

| | |
|------------------------------------------------|---------|
| 連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 | |
| 第11回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～狭小化・狭窄を伴う大腸進行癌 (SS症例) ～ | 安藤健一 18 |

こ え

| | |
|---------------------------------|---------|
| ・2022年度城北支部研修会 (ハイブリッド開催) に参加して | 北野りえ 25 |
| ・2022年度城北支部研修会に参加して | 関谷 薫 26 |
| ・城北支部研修会に参加して | 伊佐理嘉 27 |
| 2022年4月～12月期会員動向 | 28 |
| 2022年度第9回理事会報告 | 29 |
| 研修会等申込書 | 34 |
| 登録事項変更届 | 35 |

Column & Information

| | |
|------------------|----|
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 28 |
| ・東放見聞録 | 32 |

3月号 Vol.70 No.814

| | |
|------------------------------------------------|---------------|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 ベストを尽くす…その前に | 業務執行理事 鈴木雄一 3 |
| 会告1 2022年度城南支部研修会 | 城南支部委員会 4 |
| 会告2 2022年度第2回災害対策研修会 | SR推進委員会 5 |
| お知らせ1 2022年度第11地区研修会 | 第11地区委員会 6 |
| お知らせ2 2022年度第6地区研修会 | 第6地区委員会 7 |
| お知らせ3 JART終身会費免除申請 終了のお知らせ | 8 |
| お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 9 |
| 報告 2021年度学術奨励賞 | 比内聖紀 10 |
| 連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 | |
| 第12回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～高度狭窄を伴う進行癌に対する大腸ステント留置～ | 安藤健一 14 |

パイプライン

| | |
|------------------------------|----|
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.1) | 20 |
| 2022年4月～2023年1月期会員動向 | 21 |
| 2022年度第10回理事会報告 | 22 |
| 研修会等申込書 | 28 |
| 登録事項変更届 | 29 |

Column & Information

| | |
|------------------|----|
| ・求人情報 | 21 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 25 |
| ・東放見聞録 | 26 |

4月号 Vol.70 No.815

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 能動的に技師会を楽しもう | 会長 江田哲男 3 |
| 会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会 | 4 |

| | | | |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 会告2 | 第144回日暮里塾ワンコインセミナー | 学術委員会 | 5 |
| 会告3 | 2023年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) | 教育委員会 | 6 |
| 報 告 | 2021年度新人奨励賞 | 矢口 駿 | 8 |
| | 2021年度新人奨励賞 | 一ツ木康晶 | 12 |
| 連 載 | 〔消化管造影検査〕 第5部 大腸・注腸X線検査 第13回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～大腸ステント症例と術前大腸CT～ | 安藤健一 | 15 |
| こ え | ・第17回 ベイシエントケア学術大会「接遇の達人をめざして！」 に参加して | 吉野友梨絵 | 23 |
| | ・第17回ベシエントケア学術大会に参加して | 坂本雄季 | 24 |
| | ・2022年度第4地区研修会に参加して | 吉野友梨絵 | 25 |
| | ・第4地区研修会に参加して | 上田大佑 | 26 |
| | ・第4地区研修会 印象記 | 木元亮介 | 27 |
| | ・「第4地区研修会 X線管球から撮影シーケンスまで」に参加して | 湯澤安未 | 28 |
| パイプライン | ・2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 | | 29 |
| | ・日本診療放射線技師連盟ニュース(2023 No.2) | | 30 |
| | 2022年4月～2023年2月期会員動向 | | 31 |
| | 2022年度第11回理事会報告 | | 32 |
| Column & Information | | | |
| | ・東放見聞録 | | 31 |
| | ・学術講演会・研修会等の開催予定 | | 34 |

5月号 Vol.70 No.816

| | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|----------|----|
| 巻頭言 | 改善の進捗 | 副会長 野口幸作 | 2 |
| 会告1 | 第144回日暮里塾ワンコインセミナー | 学術委員会 | 3 |
| 会告2 | 2023年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」 (第145・146回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) | 教育委員会 | 4 |
| 会告3 | 第71回きめこまかな生涯教育 | 学術委員会 | 6 |
| お知らせ1 | 2023年度第1地区研修会 | 第1地区委員会 | 7 |
| お知らせ2 | 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 | 8 |
| 報 告 | 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第74回臨時総会(抄) | | 9 |
| 連 載 | 〔消化管造影検査〕 第5部 大腸・注腸X線検査 第14回 注腸X線検査における臨床画像症例 ～炎症性腸 疾患(IBD)・潰瘍性大腸炎～ | 安藤健一 | 13 |
| こ え | ・第5地区研修会に参加して | 吉野彰太 | 19 |
| | ・第6地区研修会に参加して | 河合 繁 | 20 |
| | ・第6地区研修会 印象記 | 富樫敦史 | 20 |
| | ・第6地区研修会「肝エラストグラフィについて」に参加して | 岡部博之 | 21 |
| パイプライン | ・2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 | | 22 |
| | ・日本診療放射線技師連盟ニュース(2023 No.3) | | 23 |
| | ・中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ | | 24 |
| | 2022年4月～2023年3月期会員動向 | | 25 |
| | 2022年度第12回理事会報告 | | 26 |

| | |
|----------------------|----|
| Column & Information | |
| ・求人情報 | 25 |
| ・東放見聞録 | 30 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 31 |

6月号 Vol.70 No.817

| | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 一年を振り返って | 業務執行理事 宇津野俊充 3 |
| 会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会 | 4 |
| 会告2 第71回きめこまかな生涯教育 | 学術委員会 5 |
| 会告3 2023年度城東支部研修会 | 城東支部委員会 6 |
| 会告4 第21回サマーセミナー | 学術委員会 7 |
| お知らせ1 2023年度第1地区研修会 | 第1地区委員会 8 |
| お知らせ2 2023年度第8地区研修会 | 第8地区委員会 9 |
| 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会資料 | |
| 報 告 | ・2023年度事業計画 10 |
| | I. 総括 |
| | II. 定款に基づく本会の事業 |
| | III. 委員会事業計画 |
| 報 告 | ・2023年度予算 23 |
| 第1号議案 | ・2022年度事業報告(案) 25 |
| | I. 総括 |
| | II. 事業報告 |
| | III. 活動報告 |
| | IV. 活動報告(庶務概要) |
| 第2号議案 | ・2022年度決算報告(案) 43 |
| | ・2022年度監査報告 52 |
| 第3号議案 | ・定款改正(案) 53 |
| 報 告 | ソウル特別市放射線士会学術大会 参加報告 高橋雄大 57 |

パイプライン

| | |
|-----------------------------|----|
| ・2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 | 59 |
| ・中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ | 60 |
| ・日本医用画像管理学会セミナーのお知らせ | 61 |
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース(2023 No.4) | 62 |
| 2023年4月期会員動向 | 63 |
| 2023年度第1回理事会報告 | 64 |

| | |
|----------------------|----|
| Column & Information | |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 67 |

7・8月合併号 Vol.70 No.818

| | |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 2040年問題と業務環境の変遷予想 | 会長 江田哲男 3 |
| 会告1 2023年度城東支部研修会 | 城東支部委員会 4 |
| 会告2 第21回サマーセミナー | 学術委員会 5 |
| お知らせ1 2023年度第5地区研修会 | 第5地区委員会 6 |
| お知らせ2 2023年度第8地区研修会 | 第8地区委員会 7 |
| お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 8 |
| 報 告 | 2022年度公益社団法人東京都診療放射線技師会厚生調査委員会 アンケート調査結果 東京都診療放射線技師会会員における診療放射線 |

| | | |
|-------------------------------------|---------|----|
| 技師法改正に伴う告示研修の実態調査 | 厚生調査委員会 | 9 |
| 報 告 2022年度城南支部研修会 (Web開催) アンケート集計結果 | | |
| 「Ai (死亡時画像診断) -現状と今後の展望」 | 城南支部委員会 | 18 |
| 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査 | | |
| 第15回 注腸X線検査における臨床画像症例 | | |
| ～炎症性腸疾患 (IBD)・クローン病～ | 安藤健一 | 22 |
| こ え | | |
| ・第21回看護フェスタ | 長谷川雅一 | 31 |
| パイプライン | | |
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.5) | | 32 |
| 2023年4月～5月期会員動向 | | 33 |
| 2023年度第2回理事会報告 | | 34 |
| 研修会等申込書 | | 42 |
| 登録事項変更届 | | 43 |
| Column & Information | | |
| ・求人情報 | | 33 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | | 37 |
| ・東放見聞録 | | 38 |

9月号 Vol.70 No.819

| | | |
|----------------------------------|----------|----|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | | 2 |
| 巻頭言 秋の事業活動 | 副会長 関 真一 | 3 |
| 会告1 2023年度城西支部研修会 | 城西支部委員会 | 4 |
| 会告2 第18回ペイシエントケア学術大会 | 学術委員会 | 5 |
| 会告3 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について | 渉外委員会 | 6 |
| お知らせ1 2023年度第8地区研修会 | 第8地区委員会 | 7 |
| お知らせ2 2023年度第3地区研修会 | 第3地区委員会 | 8 |
| お知らせ3 2023年度第13地区研修会 | 第13地区委員会 | 9 |
| お知らせ4 2023年度第14地区研修会 | 第14地区委員会 | 10 |
| お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 | 11 |
| 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査 | | |
| 第16回 番外編 ～バリウム製剤について～ | 安藤健一 | 12 |
| こ え | | |
| ・診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー&日暮里塾 | | |
| ワンコインセミナーに参加して | 金澤にい奈 | 19 |
| ・「第146回日暮里塾ワンコインセミナー」に参加して | 大崎優奈 | 20 |
| ・2023年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」 | | |
| 「第146回日暮里塾ワンコインセミナー」を受講して | 轟 雅文 | 21 |
| パイプライン | | |
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.6) | | 22 |
| 2023年4月～7月期会員動向 | | 23 |
| 2023年度第3回理事会報告 | | 24 |
| 2023年度第4回理事会報告 | | 26 |
| Column & Information | | |
| ・求人情報 | | 23 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | | 29 |
| ・東放見聞録 | | 30 |

10月号 Vol.70 No.820

| | | |
|------------------------------------------------|----------|----|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | | 2 |
| 巻頭言 タスク・シフト/シェアの注意と入会促進 | 副会長 野口幸作 | 3 |
| 会告1 2023年度城西支部研修会 | 城西支部委員会 | 4 |
| 会告2 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 | | |
| <荒川クリーンエイド2023 北区 荒川岩淵関緑地> | | 5 |
| 会告3 第147回日暮里塾ワンコインセミナー | 教育委員会 | 6 |
| 会告4 第18回ペイシエントケア学術大会 | 学術委員会 | 7 |
| お知らせ1 2023年度第3地区研修会 | 第3地区委員会 | 8 |
| お知らせ2 2023年度第13地区研修会 | 第13地区委員会 | 9 |
| お知らせ3 2023年度第14地区研修会 | 第14地区委員会 | 10 |
| お知らせ4 2023年度第5地区研修会 | 第5地区委員会 | 11 |
| お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 | 12 |
| 報 告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第75回定期総会 (抄) | | 14 |
| 2022年度 表彰 受賞者 | | 23 |
| 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査 | | |
| 第17回 番外編 ～バリウム製剤について②～ | 安藤健一 | 24 |
| こ え | | |
| ・「第71回きめこまかな生涯教育」に参加して | 大久保智史 | 30 |
| ・「第71回きめこまかな生涯教育 (放射線計測学に必要な統計と不確かさの考え方)」に参加して | 西 航平 | 31 |

パイプライン

| | | |
|------------------------------|--|----|
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.7) | | 32 |
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.8) | | 33 |
| ・超音波画像研究会 第29回腹部エコー初心者講習会 | | 34 |
| 2023年4月～8月期会員動向 | | 35 |
| 研修会等申込書 | | 38 |
| 登録事項変更届 | | 39 |
| Column & Information | | |
| ・東放技入会無料のお知らせ | | 13 |
| ・東放見聞録 | | 36 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | | 37 |

11月号 Vol.70 No.821

| | | |
|---------------------------------------------|-------------|----|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | | 2 |
| 巻頭言 良い失敗をする | 業務執行理事 鈴木雄一 | 3 |
| 会告1 2023年度城西支部研修会 | 城西支部委員会 | 4 |
| 会告2 第147回日暮里塾ワンコインセミナー | 教育委員会 | 5 |
| 会告3 第18回ペイシエントケア学術大会 | 学術委員会 | 6 |
| お知らせ1 2023年度第13地区研修会 | 第13地区委員会 | 7 |
| お知らせ2 2023年度第14地区研修会 | 第14地区委員会 | 8 |
| お知らせ3 2023年度第5地区研修会 | 第5地区委員会 | 9 |
| お知らせ4 2023年度第12地区研修会 | 第12地区委員会 | 10 |
| お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内 | 情報委員会 | 11 |
| 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査 | | |
| 第18回 ～大腸憩室について～ | 安藤健一 | 12 |
| こ え | | |
| ・「第21回サマーセミナー【テーマ:X線撮影を極める～腕・知識を磨こう～】」に参加して | 村田亜美 | 20 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| ・東京都診療放射線技師会 第21回サマーセミナーを受講して… 袴塚俊和 | 21 |
| パイプライン | |
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.9) | 22 |
| ・超音波画像研究会 第29回腹部エコー初心者講習会 | 23 |
| 2023年4月～9月期会員動向 | 24 |
| 2023年度第5回理事会報告 | 25 |
| 研修会等申込書 | 30 |

Column & Information

| | |
|------------------|-------|
| ・東放技入会無料のお知らせ | 19 |
| ・東放見聞録 | 24、29 |
| ・お詫びと訂正 | 27 |
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 28 |
| ・求人情報 | 31 |

12月号 Vol.70 No.822

| | |
|----------------------------------------------------------|---|
| 診療放射線技師業務標準化宣言 | 2 |
| 巻頭言 魅力 | 3 |
| 会告1 第23回公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人 日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会 | 4 |
| 会告2 第148回日暮里塾ワンコインセミナー | 6 |
| 会告3 2023年度城北支部研修会 | 7 |

| | |
|-------------------------------------------------------|----|
| 会告4 2023年度多摩支部研修会 | 8 |
| 会告5 第21回ウインターセミナー | 9 |
| 会告6 2023年度城南支部研修会 | 10 |
| 会告7 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について | 11 |

| | |
|------------------------------|----|
| お知らせ1 2023年度第11地区研修会 | 12 |
| お知らせ2 2023年度第12地区研修会 | 13 |
| お知らせ3 2023年度厚生調査委員会アンケート調査事業 | 14 |
| お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 | 15 |

| | |
|-------------------------------------------------|----|
| 連 載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査 第19回 ～大腸憩室について②～ | 16 |
|-------------------------------------------------|----|

パイプライン

| | |
|-------------------------------|----|
| ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.10) | 25 |
| 2023年4月～10月期会員動向 | 26 |
| 2023年度第6回理事会報告 | 27 |
| 2023年東京放射線総目次 | 30 |
| 研修会等申込書 | 34 |

Column & Information

| | |
|------------------|----|
| ・学術講演会・研修会等の開催予定 | 29 |
| ・東放技入会無料のお知らせ | 35 |

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

| | | | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 研修会名 | 第 回 | | |
| 開催日 | 年 月 日() ~ 月 日() | | |
| 会員/非会員 (必須) | <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック | | |
| 所属地区 | 第 地区 または 東京都以外 [] 県 | | |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | |
| 性 別 | <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 | | |
| 連絡先 | <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [] | | |
| | TEL (必須) | | |
| | FAX | | |
| | メール (PCアドレス) | | |
| 備 考 | | | |

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

技師会入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会
新卒・既卒問わず会費
5,000円



0円

必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者
JART（初年度会費5,000円+ 入会費無料）

+ TART (~~5,000円~~) 今だけ0円 = 5,000円

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！詳細はこちら→



HPへGo!



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

Postscript

久々に厚い本を買いました。「鵠の碑 (ぬえのいしぶみ)」京極夏彦先生の新作長編です。百鬼夜行シリーズとして17年ぶりの新作で、京極堂ファンの私としてはハードカバー定価3,960円と高額でも、単行本化するまで待つという判断をすっ飛ばし購入してしまいました。ただ、ファンとはいえ、17年間待ちに待ったわけではなくて、たまたま気づいた、気づかされた？ ので、発売のタイミングで購入となりました。

スマホでニュースをよく見るのですが、その記事の中に、京極先生の新刊が出るよとあって気づいたのがきっかけでした。その時はなにも考えなかったのですが、後日ショッピングモールの本屋さんで息子と一緒に本を購入する際、息子「本、読んだねっ(笑)」、私「昔はよく読んだんだよ……。」そんな会話をし、そういや長いことハードカバーの長編作を手にとっていなかったなあと気づかされました……。ちょっと待てよ、ここ10年近く気にも留めていなかった“京極堂シリーズ”をなんとスマホのニュースで知ることとなったのだろう。本屋に行けば、京極先生

の単行本は手に取るし、他の作家さんの本も手に取るけど……。

スマホやPC上に上がる情報というのは、ユーザー検索やYouTubeでのアクティビティから、その人の興味や関心に合わせて記事を表示してくれます。普段、私に上がってくるニュースは、スポーツ(バスケ・サッカー・ラグビー)とファッション、猫、地域の情報くらいなもので、今回のような小説関連などは全くないのです。裏を返せば、普段からそういったことをスマホやPCで検索をしたことなどないはずですし、とかかしてないし、情報を得てきたとしてもg-mailを使用してからの履歴からなのだろうから、膨大な情報の中のほんの一点だと思うのです。それをそんな、ピンポイントを上げてくるなんて……。

便利通り越して怖いわ!! AIさん、余計なことだけはしないでね……。

今年もご愛読いただきありがとうございます！ 来年も東京放射線をどうぞよろしくお願い致します！

筋肉すぐる

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)

コニカミノルタジャパン(株)

キヤノンメディカルシステムズ(株)

光製薬(株)

GEヘルスケアファーマ(株)

東京放射線 第70巻 第11号

令和5年11月25日 印刷(毎月1回1日発行)

令和5年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一